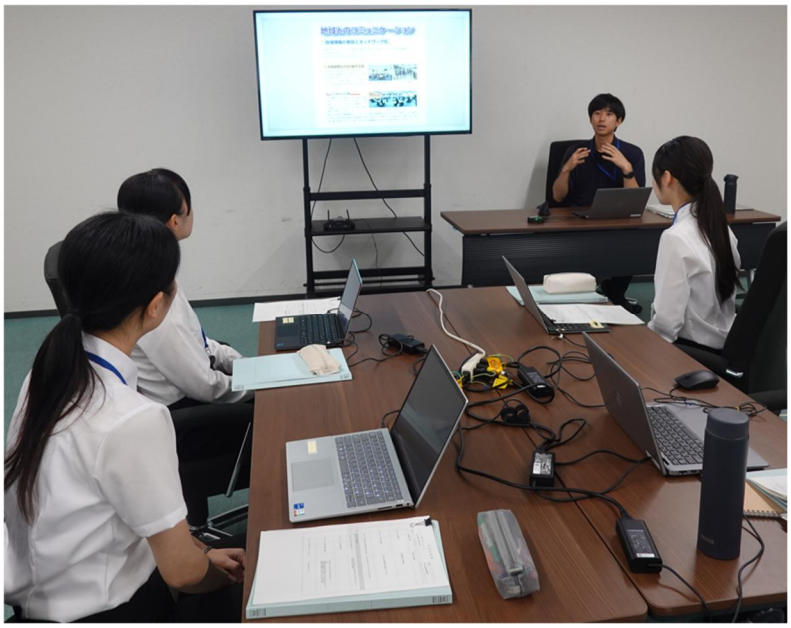
【令和8年度近畿財務局体験プログラム開催報告】

令和８年８月下旬から９月上旬にかけて、近畿財務局本局及び事務所において体験プログラム（短期インターンシップ）を実施し、計 15 名の大学生等にご参加いただきました。各部署で開催された体験プログラムの様子を一部紹介します。

地域連携に関する説明



総務部の実習では、当局における地域連携の取組について学んだ後、実際に市役所で行われた地域活性化に関する会議に同席しました。会議への参加を通じて、地域とのネットワークの中で当局が果たす役割や、関係者との円滑な連携に向けた調整の重要性について学ぶことができました。

実施計画調査見学

理財部門では、各課の業務内容の説明を受け、当局が担っている役割について学びました。特に、主計第1課・主計第２課では、災害査定立会の模擬査定や実際の実施計画調査に参加するなど、より具体的な業務を体験することで、地域貢献に直結する重要な仕事であることを学びました。



財務事務所の実習では、財務事務所が所管する多岐にわたる業務を体験しました。

国有財産部門では、国有財産の管理・処分や公務員宿舎に関する業務説明を受けた後、実際の現地調査に参加しました。国有地や公務員宿舎がどのように利用・管理されているのかを自身の目で確認することで、図面や資料だけでは理解しにくい実務の内容を具体的に学ぶことができました。

財政部門では、財政投融資制度や業務内容について説明を受けた後、貸付先の現地調査に参加しました。財政融資資金が実際にどのように活用されているのかを確認することで、当局が地域社会や事業運営に果たす役割について、理解を深めることができました。

また、若手職員との座談会など、当局職員と交流する機会も設けました。職員の方々から実際の業務内容や仕事のやりがいについて直接話を伺うことで、参加者に当局の職場の雰囲気や働く姿をより身近に感じていただくことができました。

公務員宿舎の見学



未利用地の見学



貸付先の見学



若手職員との座談会



【参加学生の感想】

- 短い期間の中で幅広い業務を体験することができ、各部門の役割や業務内容の特色について理解を深めることができました。
- 体験プログラムへの参加を通じて、説明会やパンフレットだけでは伝わらない実際の職場環境や働く様子を体感することができ、貴重な経験となりました。
- 業務説明に加えて、座談会の機会を設けていただいたことで、不安に感じていたことや知りたかったことを直接質問することができ、大変有意義でした。
- 職場の雰囲気が非常に良く、職員の皆様にも気軽に声をかけていただけたため、安心して質問や業務に取り組むことができました。